

我が社の安全衛生管理



萌州建設株式会社 工事管理部部長 和田 泰典

1. はじめに

弊社は2004年10月、勝山組、ハタナカ建設(以上本社留萌市)苦前土建(本社苦前町)の3社合併により誕生しました。その後に国道維持工事を主体に稼動していた大萌建設維持(本社留萌市)を合併し現在に至っております。会社の成り立ちから、弊社の施工能力は道路、道路維持、港湾、海岸、河川、農業、水産、森林、建築と建設業の主要分野を網羅し、4箇所の本社、支店、営業所、出張所により北は天塩から南は増毛まで留萌管内全域をカバーする効果的な施工体制を確立しています。また、留萌市を本拠に全道に展開するハタナカグループの一社として、あらゆるお客様のニーズにお応えできる総合建設業たらんと日々努力を重ねております。

2007年には地域の有志とともに、萌州ファーム(本社羽幌町)を設立し、以来羽幌町営焼尻めん羊牧場の指定管理者として地域振興に努力するなど、地域貢献やボランティア活動にも積極的に取り組んで参りました。

2. 安全衛生基本方針

【基本方針】
死亡・重篤災害・休業災害“ゼロ”を目指す。

【安全衛生目標】

1. RKYを徹底し、全ての危険原因を排除する。
2. 会社の管理・支援の下、自分の安全・健康は自分で守る。
3. 本年度、労働災害“ゼロ”を目指す。

【安全スローガン】
安全はあなたの努力とみつける目
めざそう現場の危険ゼロ

3. 安全衛生管理計画

基本方針・安全衛生目標・安全スローガンを基に「安全衛生管理計画」を策定し、年度実施重点事項を定めて、各作業所に水平展開し、施工計画書において作業所ごとの安全目標を定めて労働災害“ゼロ”を目指し日々安全活動をしています。

【年度実施重点事項】

1. 墜落・転落事故防止
2. 重機との接触事故防止
3. 掘削崩壊の事故防止
4. 海上作業の事故防止

4. 安全衛生管理活動

①安全大会

毎年5月に開催される全役職員と協力会社が参加した安全大会で、労働基準監督署、海上保安部、警察署から講師を迎え、安全講話をいただき、年度安全スローガンの発表と、協力会社からの安全宣言をいただき、全従事者の安全コンセンサスを推進しています。



安全大会（取組事例 i 用）

②店社安全パトロール

毎月1回、安全担当者と役職員によるパトロールを実施し、点検表による指導・改善で作業所内に水平展開して安全意識の高揚を図っています。

全国安全週間、全国労働衛生週間には社長以下役員によるパトロールを実施し、安全衛生面の現場支援を行っています。



店社安全パトロール
(取組事例 ii 用)



5. 作業所安全衛生活動

作業所では、良好な労働条件を確保し、快適な作業環境の形成を図るために、共通仕様書及び諸法令に基づき災害防止協議会を設置し、新規入場者教育、安全ミーティング、RKY、KYK活動を実施、毎日の朝礼、午後いちミーティング、終礼による現場内情報交換を充実させ、労働災害防止に努めています。

また、現場周辺の自然環境に注意し、騒音、振動、水質汚濁防止に配慮しながら地域に密着した現場作りを行っています。



朝礼
(取組事例 iii 用)

発注者と他工区工事請負会社で安全連絡協議会を設立し、定期的にお互いの現場をパトロールし、色々な視点からの、安全盲点を指摘しあうことで、より良い安全現場作りを行っています。



安全連絡協議会パトロール

6. その他の活動

小平町教育委員会を通して、幼稚園、小・中学校へ、インフルエンザの予防に役立てていただくための、うがい薬とハンドソープを毎年10年以上継続寄付し、子供たちの健康管理に役立てていただく活動などを行っております。

また、今シーズンの大雪で老人憩の家周辺に降り積もった雪の、除排雪を行う地域貢献も好評でした。



教育委員会へ寄付



大雪の除雪

東日本大震災の翌年に岩手県宮古市に事業所を開設し、主に田老地区の災害復旧工事に携わり、今現在も防潮堤工事などで頑張っております。



田老漁港災害復旧工事

7. むすびに

近年、担い手不足や若者の建設業離れなどによる建設業の衰退が懸念されますが、働き方改革、現場の週休二日制、i-Constructionなどに積極的に取り組み、建設業のイメージアップに努力し、労働災害撲滅に向って、「安全第一」を基本に安全衛生活動を推進します。

また、留萌はインドのマドラス、スコットランドのウイックとならぶ世界三大波濤の海と、冬は猛吹雪でホワイトアウト状態など、マイナスイメージが先行する土地ですが、個人の持つ知識や情報を組織全体で共有し、地域に有効活用することで貢献できる企業を目指していきます。